

(再開 午後 2時 40分)

**議長（萩原由一）**

休憩前に引き続き会議を開きます。

6番 勝山 卓 議員。

(「はい、議長。6番。」の声あり)

(6番 勝山 卓 議員 登壇)

**1. 観光施設民営化について**

**6番 勝山 卓 議員**

それでは、議長から発言を許されましたので、通告に基づきまして、3項目の質問に入らせていただきます。

よろしくお願いいたします。

最初の質問ですが、観光施設民営化についてお伺いをしたいというふうに思います。

村は、平成29年3月、公共施設等総合管理計画を策定し、令和4年3月、見直し改定を行い、施設の長寿命化、更新対策に必要な費用、将来にわたっての施設の維持管理費に伴う財政負担等に基づき、18観光施設の民間への譲渡方針が示されました。

観光施設の民営化方針の新聞記事報道もあり、村民の関心が一気に高まったわけではありますが、3月の議会の一般質問や、村では4月は広報の折り込みチラシの配布、5月2日には住民説明会が開催され、観光施設民営化についての説明が開催されてきたところであります。

そこで7点について質問申し上げますので、よろしくお願いいたしますと思います。

1点目ですが、3月議会以降、民営化に向け見直しや内容が変更になった点はあるか。

確認ではありますが、観光施設の民営化については18施設としているわけではありますが、土地についてはですね、どういう考えでいるのか、お考えをお聞かせをいただきたいというふうに思います。

2点目。民間譲渡対象施設の18観光施設としたわけではありますが、民営化に向けた考え方があるのか。お伺いをしたいというふうに思います。

3点目。3月議会以後、事業進展があったのか、進捗状況についてお伺いをしたいと思います。

4点目。民営化を進めるにあたり、一番の課題は何なのか。お伺いをしたいと思います。

5点目。譲渡目標を10月としているわけではありますが、譲渡先の考えについて、お伺いをしたいというふうに思います。

6点目。譲渡先が何らかの理由で事業継続ができず、事業の撤退、停止、又は売却をすることを防止する対策の考えがあるのか、お伺いをしたいというふうに思います。

7点目。3月の一般質問で民営化ができなかった場合について、このまま村の施設として維持管理をしていくことは難しいとし、施設事業の中止、停止も考えていく必要があると答弁されているわけではありますが、住民説明会では、事業継続の方針が示されました。

危機的な状況がある中で、今回、村からの経営支援金を最後としたい旨のお話があったわけではありますが、財政支援ができない中で、事業継続は厳しいものではないかと、こんなように思うわけではありますが、その点について、お伺いをしたいというふうに思います。

前段、2名の方から質問は同じような質問も重複して説明あるかと思いますが、よろしくお願いいたしますと思います。

以上です。

**議長（萩原由一）**

日碁村長。

(村長「日碁正博」登壇)

## 村長（日躰正博）

勝山議員の観光施設の民営化についてのご質問であります。まず、民営化に向けた考え方、進捗状況については、山浦議員、山崎議員にお答えしたとおりであり、3月議会以降、具体的に事業者選定に向けて進めているところであります。

4点目の課題という事についてであります。一番の大きな課題は、木島平観光(株)の経営状況から、民営化に向けて準備の時間的余裕が少ないということ。そしてまた、民営化に転換するという点で、行政が所有、管理してきました施設、そして、それを第三セクターで運営してきたことから、皆さんに民営化に向け、民営化に転換することの理解をいただくことが一番大きな課題と考えております。それは木島平村の観光がどちらかというと行政主体で来た経過があり、それを転換していくことは大きな課題だと考えております。

山崎議員にもお答えしましたとおり、民営化によりまして村の財政負担が軽減され、他の施策に、人的にも財政的にも力を向けられることになり、観光事業については、民間事業者の資金力とノウハウが新たな展開を生むことで、地域活性化を目指していくものであることを、ご理解いただきたいと思っております。

また、最後の質問の、3月議会で事業の中止、停止もと示し、説明会では、スキー場については継続するといった件であります。スキー場は、そこで働く宿泊業者等を行う事業者の皆さんが多いことから、すぐに中止はできないということであり、現状のままでは将来的な継続は難しいと考えております。

しかしながら、馬曲温泉、やまびこの丘公園については、木島平観光(株)の厳しい経営状況を考えると、最悪のことを想定していかなければいけないことには変わりはないことは、ご理解をいただきたいと思っております。

いずれにしても、早期に民営化が実現できるよう進めてまいりたいと思っております。しかしながら、相手のあることでもありますので、段階的に移行も想定せざるを得ないことはご理解をいただきたいと思っております。

以降のご質問については、担当課長に答弁をさせます。

## 議長（萩原由一）

湯本産業課長。

（産業課長「湯本寿男」登壇）

## 産業課長（湯本寿男）

それでは、村長の答弁に補足をいたしまして、お答えをいたします。

2点目であります。18観光施設としたが、土地はどう考えるのかというご質問でございましたが、方針としましては、18施設という形でお示しをしております。民営化の考え方にあたりまして、民間事業者の方が土地をどう判断されるかということも一つのこれからの交渉の内容となっておりまして、村とすれば、有効に土地も活用していただけるのであればということで、すり合わせ等を行う中で検討していきたいと考えております。

5点目のご質問の譲渡目標を10月としているが、譲渡先の考え方はということであります。

今後の事業者選定やすり合わせ、交渉等の中でできるだけ早く移行できるようお願いをしております。

6点目でありますけれども、譲渡先が事業の撤退又は売却することを防止する対策はあるかというご質問でございまして、基本的には事業者選定に至る段階で、できる限り事業継続ができる事業者を選定することがまず重要と考えております。また、契約の段階で、一定期間は土地など事業の使用用途指定ができる、すなわち、違う事業に使われないような約束が可能なのかどうかも含めて、相談をしていければと考えておりますので、お願いをいたします。

**議長（萩原由一）**

勝山 卓 議員。

**再質問**

**6番 勝山 卓 議員**

それでは再質問をお願いしたいと思いますが、民間譲渡の対象施設を4施設、木島平スキー場、やまびこの丘公園、パノラマランド木島平、馬曲温泉としているわけでありましたが、譲渡等今回話の中でですね、譲渡施設はどういった状況なのか、また、他の施設の民営化を今後どう進めていくのか、お願いをしたいというふうに思います。

それから2点目ですが、観光（株）の民営化に向けて時間的な余裕が難しいというような話があったわけですが、最悪ですね、施設の民間譲渡を先行して、観光株式会社の民営化が遅れるというような状況も考えられるのか、その辺の考え方をお聞かせいただきたいというふうに思います。

以上です。

**議長（萩原由一）**

湯本産業課長。

（産業課長「湯本寿男」登壇）

**産業課長（湯本寿男）**

それでは3点の再質問についてお答えをいたします。

まず、状況ということでございます。先ほど山崎議員、山浦議員の中にもお話をさせていただきましたが、いくつかご興味を示していただいているところもございますので、今いろんなお話を聞きながら、今後具体的に選定をしていきたいというところでございます。

もう一つ、他の施設をどう進めていくのかということでございますが、これは馬曲温泉とやまびこの丘公園という考え方でよろしいでしょうか。

具体的には4施設の民営化の方針を示しているところでございますけれども、やはり相手先のあることですので、どういった施設であれば先に可能なのか、一つでいいよとか、四つ全部いいよっていう企業が中にはあるかどうかは今後の話になりますけれども、可能なところから民営化を進めていくのがやはり得策だと考えております。

あと、時間的な余裕がない中で第三セクターの扱いということでございますが、基本的には施設を民営化するということになりますと、第3セクターを継続していくというのはなかなか難しい話になると思いますので、形とすれば同時ということになります。場合によっては会社の譲渡が先行する可能性もあるということはお含みをいただければと思います。いずれにしましても、施設の譲渡と会社の民営化といいますか、会社の譲渡を同時に進めていくという基本的な考え方については変わりがないということで、ご理解をお願いいたします。

**議長（萩原由一）**

勝山 卓 議員。

**再々質問**

**6番 勝山 卓 議員**

方針が判ったわけですが、先ほど質問したのは最悪の場合ということで、施設の民間譲渡、それから観光株式会社の民営化、これは別々に切り離さないと、そういうことで確認ですが、進めていくということでもいいんですかね。

## 議長（萩原由一）

湯本産業課長。

（産業課長「湯本寿男」登壇）

## 産業課長（湯本寿男）

それでは、再々質問でございます。

基本的な考え方については、施設と第三セクターの民営化を完全に民営化をしていくという、考え方なんですけれども、場合によっては少し時期がずれるといったような場合もあるということは想定をしながら、できるだけ早いスケジュールで考えていきたいというふうに思っております。

## 議長（萩原由一）

勝山 卓 議員。

## 2. 貸付金にかかる債権管理について

### 6番 勝山 卓 議員

それでは次の質問に入りますが、貸付に係る債権管理についてお伺いをしたいと思います。

第三セクター木島平観光株式会社は、寡雪、新型コロナウイルスの感染拡大長期化の影響から経営状況が急激に悪化したわけでありますが、そのためにですね、資本勘定がマイナスとなる債務超過に至っておるわけであります。

令和3年度、30期もですね、赤字決算予想の報告があり、4期連続の赤字となるわけでありますが、経営財務状況はかなり厳しく、会社の存続が危ぶまれる深刻な状況にあるわけであります。このような状況にあって、村では観光施設の民営化方針が示され、施設の民間譲渡、観光株式会社の民営化の検討が進められていることから、3月議会で観光株式会社の資金ショート、運転資金等と借入金の返済対策として経営支援金5,000万円の補正予算が可決をされたわけであります。

この経営資金5,000万円の算出根拠としてについては、村からの借入金の元金返済を前提とした800万円が含まれているという説明があったわけであります。

村からの経営支援金が観光株式会社3月10日に3,000万円交付され、3月29日の議会の全員協議会での質問に対し、償還日の3月25日の返済がされておらず、村は了承した旨の説明があったわけであります。

公正公平の観点からと、支援金ですね使用目的、使途及び債務管理を村はどのように考えているのか、お伺いをしたいと思います。

## 議長（萩原由一）

日墓村長。

（村長「日墓正博」登壇）

## 村長（日墓正博）

借入金に係る債務の管理についてという事であります。

ご質問の返済金につきましては、平成28年に村が4,000万円を木島平観光(株)へ運営資金として貸し付けしたものを、今年の3月25日に返済を予定していたものであります。

今回、コロナ禍によります観光施設指定管理者であります木島平観光(株)の運営補助金として、5,000万円の運営補助金を交付し、指摘のありました返済金が返済日に返済されなかったことについてですが、木島平観光(株)の経営状況については、団体のキャンセルが続くホテルの収入が見込めない中、スキー場の売上が頼りの状況の中で、今月の時点で支払の見込みができなかったこともあり、支

払期限の先送りを依頼されたものであります。

村としては、返済日に利子の支払いをお願いし、用途が付き次第返済をとということで、4月25日に返済をしてもらっております。

経営状況が厳しい中での運営で、そのような判断をさせていただきましたが、目的外使用という事には当たらないと考えておりますので、よろしくご理解いただきたいと思っております。

## 議長（萩原由一）

勝山 卓 議員。

### 再質問

#### 6番 勝山 卓 議員

それでは、再質問をお願いしたいと思っておりますが、議論の結果としてですね償還金が返済することになって、説明がありましたように、4月15日、残りの経営資金2,000万円が交付されて、4月25日に償還がされたわけでありまして。

返したからそれでいいという問題ではなくてですね、決めたことはきちんとやってもらう、守ってもらう、その基本的な対応を村はされなかったわけでありまして。

今の答弁の中で、当初の内容とは異なる点が若干ありますが、依頼された内容を聞いているのではなくてですね、村民と信頼を共感しそれが信頼関係を築いていくものと思っておりますので、村としてですね、先ほど言いましたように、公平かつ適正な公正な観点、それから経営支援金の使用外目的の方法、それから債権管理についての、3点についての考え方を聞いているので、再度お願いしたいというふうに思います。

2点目。村は経営資金、経営支援金の使途、それから資金の資金繰りについて、内容審査をし交付決定をしているわけでありまして、経営支援金を交付したにもかかわらず、答弁ではですね、先ほど言いましたように、3月の時点で償還見込みが出来なかったということでありまして、交付の仕方の問題があったのか、また、村でその調査確認をしてきたのか、お伺いをしたいと思います。

それから3点目。

村のコンプライアンスと、内部統制については疑問を感じるわけでありまして。村には、木島平村債権管理条例があって、債権管理条例施行規則、それから補助金等交付規則、今回の第3セクター経営支援金交付要領、それから長期貸付金貸付要領等があるわけでありまして、村の組織の中にですね今回の事例について、異議を唱える人がいなかったのかなというふうにちょっと感じるわけでありまして。一つにはやっぱり内部統制が取れてないこと。二つ目はやっぱりコンプライアンスが守られていないんじゃないかなというふうに感じます。それからそのことについて、今後の対応も含めてですね、お考えをお聞かせいただきたいと思っております。

それから4点目。債権者は村長であるわけでありまして。村の債権管理条例の中で、村長の責務として、村長は村の債権の適正な保全と、及び徴収に努めなければならないと定めております。債務者は観光株式会社代表取締役社長、つまり村長であるわけでありまして。そこにそれぞれの立場に対する甘えがみえるようであってはまずいわけでありまして。その辺についてのお考えをお聞かせをいただきたいと思っております。

5点目。今回の経営支援金で観光株式会社は決算で5,000万円の赤字の圧縮が出来たわけでありまして。また、長期借入金800万円減少し、大きな効果をもたらしたわけでありまして、返済が遅れたためにですね、貸付要領によると、10%の違約金が発生すると、いうふうになっているわけでありましてね。約1ヶ月間、800万円が遅れたわけでありまして、計算しますとですね約6万8,000円ほど違約金が発生すると、延滞利息が発生すると、こういうことでありまして。

結果ですね、支援金を無駄に使ったっていうような形になるんじゃないかなと、こんなふうに思うわけでありまして。村としての考え方はどうなのか、お伺いをしたいと思います。費用の削減はもう図

っている中でのこういったことでもあります。お考えをお聞かせいただきたいと思います。

**議長（萩原由一）**

日碁村長。

（村長「日碁正博」登壇）

**村長（日碁正博）**

勝山議員の再質問であります。大変質問項目が増えましたが、全て含めていずれにしても2月3月4月ってのは観光（株）にとっては一番の収入を得る時期でもあります。また、支出も多い時期ということで、中々見通しが立たない状況でありました。その中で大変苦労したわけではありますが、最終的には私の判断ということでもありますので、その辺はご了承いただき、お詫び申し上げたいというふうに思います。それから、前々から申し上げている通り、やはり村が出資している三セク等の代表とそれぞれの自治体の首長が同じというのはやはりまずいということは再三申し上げてきたわけですが、それが未だに解消できなかったについても、それについてはお詫び申し上げたいというふうに思います。

**議長（萩原由一）**

勝山 卓 議員。

**3. 「ファームス木島平」の運営改善計画について**

**6番 勝山 卓 議員**

それでは、最後の質問であります。ファーム木島平の運営改善計画について、お伺いをしたいと思います。

昨年11月に令和5年度オープンに向けた運営改善方針の説明がされたわけではありますが、異論が相次いだわけでもあります。

そこで次の点についてお伺いをしたいと思います。

1点目。計画変更があるのかどうなのか。

2点目。現在どのような状況で取り組まれているのか。

3点目。施設のあり方を再検討し、事業の見直しについてもですね、必要だというふうに思いますが、考えがあるようでしたら、お考えをお聞かせいただきたいと思います。

以上3点お願いします。

**議長（萩原由一）**

ここで暫時休憩とします。

（休憩 午後 3時 04分）

（再開 午後 3時 06分）

**議長（萩原由一）**

休憩前に引き続き、会議を開きます。

日碁村長。

（村長「日碁正博」登壇）

**村長（日碁正博）**

勝山議員の、ファームス木島平の運営改善計画についてのご質問であります。

道の駅の改善方針については、意欲と能力のある民間事業者による施設運営を基本として、直売や

飲食を始めとした各種事業により、収益や雇用を生み出し、木島平村全体の活性化を牽引する道の駅運営を目指し、運営改善方針の案を検討してきたところであります。

今年度については、屋根改修に係る設計費等を予定しておりますが、長年にわたる課題を根本的に解決するため、多くのご意見を聴取しながら、抜本的な見直しも視野に入れた方針として検討していきたいと考えております。

また、観光施設の民営化により、道の駅を取り巻く環境も大きく変化することが予想されるため、施設の運営改善に向けての市場性の有無や実現可能性の把握など、必要な機能やアイデアについての提案を広く民間から聴取することも想定としていきたいと考えておりますので、進め方についてはまた改めてご相談をしていきたいと考えております。

#### 議長（萩原由一）

勝山 卓 議員。

#### 再質問

##### 6番 勝山 卓 議員

その屋根の関係だとか、色々な課題が多くあるわけでありまして。この点についてですね、新たに検討するというようなことの解釈で、それでよろしいのか。一旦、今までの提案された案件が白紙として見ていいのか、それについてお伺いをします。

#### 議長（萩原由一）

湯本産業企画室長。

（産業企画室長「湯本寿男」登壇）

#### 産業企画室長（湯本寿男）

それでは、再質問についてお答えをいたします。

今まで改善計画の方針を出ささせていただきましたが、全く白紙にするという予定ではございません。

現時点で一番大きな課題はやはり老朽化した屋根改修の話と、あと事業実施にあたっての補助金導入をしておりますので、そういった補助金の返還のお話が、2つ大きな課題がございます。

制度導入、事業導入後7年経過をしてきた状況で、やはり今後修繕をした際の、また再修繕の話とか懸念がありますので、そういった課題も改めて再検討させていただいて、民間の方の意見も聞きながら再度方針を練り直していきたいというふうに考えております。今後、具体的な方策についてはまた改めてご相談させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

#### 議長（萩原由一）

以上で、勝山 卓 議員の質問は終わります。

（終了 午後 3時 09分）

#### 議長（萩原由一）

以上で、本日の日程は終了しました。

本日はこれで散会します。

ご苦労様でした。

（散会 午後 3時 10分）